

授業科目名	現代の経済と金融		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	大泉 英次		
実施日・時間	5月23日(金) 17:30~20:40		
	5月24日(土) 9:30~15:00		
	6月6日(金) 17:30~20:40		
	6月7日(土) 9:30~15:00		
	6月20日(金) 17:30~20:40		
	6月21日(土) 9:30~15:00		
【講義内容】			
<p>日本経済を中心に、現代の経済と金融について考察していきます。</p> <p>テーマは以下の3つです。隔週開講となりますのでご注意ください。</p> <p>(1)通貨とインフレ・デフレ：5月23・24日</p> <p>(2)金融自由化と銀行・証券：6月6・7日</p> <p>(3)国際通貨と国際金融：6月20・21日</p> <p>つぎのことに留意して講義と討論を進めます。</p> <p>①金融制度の仕組みや経済的機能について、基礎から具体まで考察する</p> <p>②第二次大戦後の日本経済、世界経済の歩みを振り返りながら、現状の考察に及ぶ</p> <p>③デフレ、金融機関の再編、サブプライムローン問題などのトピックスを取り上げる</p> <p>これらについて体系的な知識をえるためには、講義を聴くだけでなく、よいテキストを読むことが必要です。</p> <p>下にあげた、関根ほか著「金融論」は最近のトピックスをカバーするものではありませんが(2000年に出版)、できれば事前・事後に読んでほしい良書の1つです。また、山口著「誰のための金融再生か」(2002年に出版)は中小企業金融について詳しく書いている良書です。いずれも、できれば目を通していただければ幸いです。</p>			
【テキスト・教材】			
<p>講義のさいにレジュメ、資料を用意しますが、参考書として以下のものをお薦めします。</p> <p>関根猪一郎・木村二郎・大島重衛・小西一雄(共著)「金融論」青木書店(2800円)</p> <p>山口義行(著)「誰のための金融再生か」ちくま新書(680円)</p>			
【事前学習】			
<p>講義内容の(1)(2)(3)について、それぞれ関心がある事柄をえらび、新聞、雑誌、インターネットなどで情報やデータを収集しておいてください。</p>			